

# 第48期決算説明会 (2016年3月期)

2016年5月26日

加賀電子株式会社(東証1部:証券コード8154)  
〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地  
TEL:03-5657-0111  
FAX:03-3254-7131  
<http://www.taxan.co.jp>





1

## 2016年3月期実績

- ✓ 下期減速が厳しく売上高はガイダンスを下回ったが、経常利益は79億円。3期連続の増益を確保。

2

## 2017年3月期予想

- ✓ 当社固有要因等もあり、上期は大幅減収・減益だが、下期は、前年同期比増益、成長軌道回復を予想。

3

## 中期経営計画2018

- ✓ 業績不振子会社の立て直しが完了(2016年3月期)。
- ✓ 経常利益100億円達成(2019年3月期)に向け邁進。

# 2016年3月期 連結業績

# ■当期業績(過去2期比較)

(単位:百万円)

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	
				前年比
売上高	257,852	255,143	245,387	-9,756
売上総利益	32,522	32,738	33,648	910
利益率(%)	12.6%	12.8%	13.7%	0.9%
販売費及び一般管理費	27,416	26,376	25,859	-517
営業利益	5,106	6,362	7,788	1,426
経常利益	5,847	7,664	7,908	244
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,877	4,416	5,437	1,021

# ■当期業績/事業部門別(過去2期比較)

(単位:百万円)

		2014/3期	2015/3期	2016/3期		増減の主なポイント
					前年比	
電子部品	売上高	194,782	197,188	189,486	-7,702	国内における遊技機器向け電子部品・半導体の販売などの減少。
	セグメント利益	3,805	4,852	6,515	1,663	売上総利益率の向上。
情報機器	売上高	46,505	42,024	40,880	-1,144	コンシューマ市場への販売戦略の見直しなど事業の再編により収益改善。
	セグメント利益	866	707	811	104	
ソフトウェア	売上高	3,306	2,889	2,897	8	アニメーションのCG制作やゲームソフトの開発に注力。
	セグメント利益	79	442	695	253	不採算事業の再編により収益改善。
その他	売上高	13,258	13,040	12,123	-917	アミューズメント業界向けゲーム機器事業などの不振。
	セグメント利益	410	169	-343	-512	ゲーム機器事業におけるゲーム機および消耗品販売の減少。
計		257,852	255,143	245,387	-9,756	※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。
		5,106	6,362	7,788	1,426	

# ■地域別売上高実績

(単位:百万円)

	2014/3期		2015/3期		2016/3期			増減の主なポイント
	売上高		売上高		売上高		前年比	
日本	180,170	70%	173,048	68%	167,914	69%	-5,134	遊技機器向け電子部品・半導体などの取扱高減少。
北米	3,918	1%	5,363	2%	5,840	2%	477	電子機器向けEMS増加。
欧州	2,430	1%	2,506	1%	2,662	1%	156	
東アジア	71,333	28%	74,225	29%	68,970	28%	-5,255	海外日系メーカーへの電子機器向けEMSなどの減少。
計	257,852	100%	255,143	100%	245,387	100%	-9,756	

# ■貸借対照表の業績比較

(単位:百万円)

	2014/3末	2015/3末	2016/3末	前年比
流動資産	102,930	104,424	101,961	-2,463
現金及び預金	14,192	18,130	22,516	4,386
受取手形・売掛金	60,667	58,167	54,795	-3,372
商品及び製品	16,378	17,276	14,898	-2,378
仕掛品	848	401	266	-135
原材料及び貯蔵品	3,991	5,024	4,010	-1,014
その他	6,854	5,426	5,476	50
固定資産	23,098	23,524	22,319	-1,205
有形固定資産	12,625	12,725	12,058	-667
無形固定資産	1,533	1,131	1,003	-128
投資等	8,938	9,667	9,257	-410
資産合計	126,028	127,948	124,281	-3,667

	2014/3末	2015/3末	2016/3末	前年比
流動負債	63,410	54,612	51,169	-3,443
支払手形・買掛金	41,695	40,543	36,858	-3,685
短期借入金	12,172	5,925	6,295	370
その他	9,543	8,144	8,016	-128
固定負債	9,792	13,733	11,303	-2,430
長期借入金	4,681	8,253	6,007	-2,246
その他	5,111	5,480	5,296	-184
負債合計	73,202	68,345	62,472	-5,873
株主資本				
資本金	12,133	12,133	12,133	0
資本剰余金	13,912	13,912	13,912	0
利益剰余金	27,414	31,029	35,195	4,166
自己株式	-536	-537	-539	-2
評価・換算差額	-137	3,026	1,061	-1,965
少数株主持分	39	38	44	6
純資産合計	52,825	59,603	61,808	2,205
負債・純資産合計	126,028	127,948	124,281	-3,667



# ■連結キャッシュフロー計算書の比較

(単位:百万円)

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	前年比
営業活動によるキャッシュフロー	3,334	9,127	9,546	419
投資活動によるキャッシュフロー	-3,339	-1,465	-1,263	202
財務活動によるキャッシュフロー	1,024	-4,431	-3,067	1,364
現金等の期首残高	11,878	13,361	17,569	4,208
現金等の期末残高	13,361	17,569	21,879	4,310

## 増減の主なポイント

- 営業活動によるキャッシュフロー：税金等調整前当期純利益の計上。
- 投資活動によるキャッシュフロー：有形固定資産の取得。
- 財務活動によるキャッシュフロー：短期借入金の返済と配当金の支払い。

# 2017年3月期 通期連結業績予想

# ■通期連結業績予想

連結損益計算書比較(2016年3月期実績⇒2017年3月期予想) (単位:百万円)

	2016/3期(実績)	2017/3期(予想)	前年比
売上高	245,387	230,000	-15,387
売上総利益	33,648	31,400	-2,248
利益率	13.7%	13.7%	±0%
販売費及び一般管理費	25,859	25,700	-159
営業利益	7,788	5,700	-2,088
経常利益	7,908	6,400	-1,508
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,437	4,700	-737

# ■ROE予想(前期比較)

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	
			今回予想	前年比
1株当たり当期純利益 (EPS)	156.28	192.43	166.34	-26.1
1株当たり年間配当	40	55	40	-15.0
普通配当	30	40	40	±0
特別配当	10	15	-	-
自己資本当期純利益率 (ROE)	7.8%	9.0%	7.4%	-1.6%

# ■ 連結事業部門別業績予想

(単位:百万円)

		2016/3期	2017/3期 (予想)		増減の主なポイント
				前年比	
電子部品	売上高	189,486	176,000	-13,486	半導体の商流変更による取扱高減少および為替の変動など。
	セグメント利益	6,515	4,350	-2,165	
情報機器	売上高	40,880	40,000	-880	デジタルカメラなどの取扱高の減少や住宅向け関連商材などの取扱高の減少により売上高が減少するが、コンシューマ市場向け販売商品の見直しなどによる利益率の改善。
	セグメント利益	811	900	89	
ソフトウェア	売上高	2,897	2,800	-97	
	セグメント利益	695	630	-65	
その他	売上高	12,123	11,200	-923	ゲーム機器事業におけるゲーム機器および消耗品販売の低迷などにより売上高が減少するが、子会社の再編などにより利益向上。
	セグメント利益	-343	-180	163	
計		245,387	230,000	-15,387	※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。
		7,788	5,700	-2,088	

# ■地域別売上高実績予想

(単位:百万円)

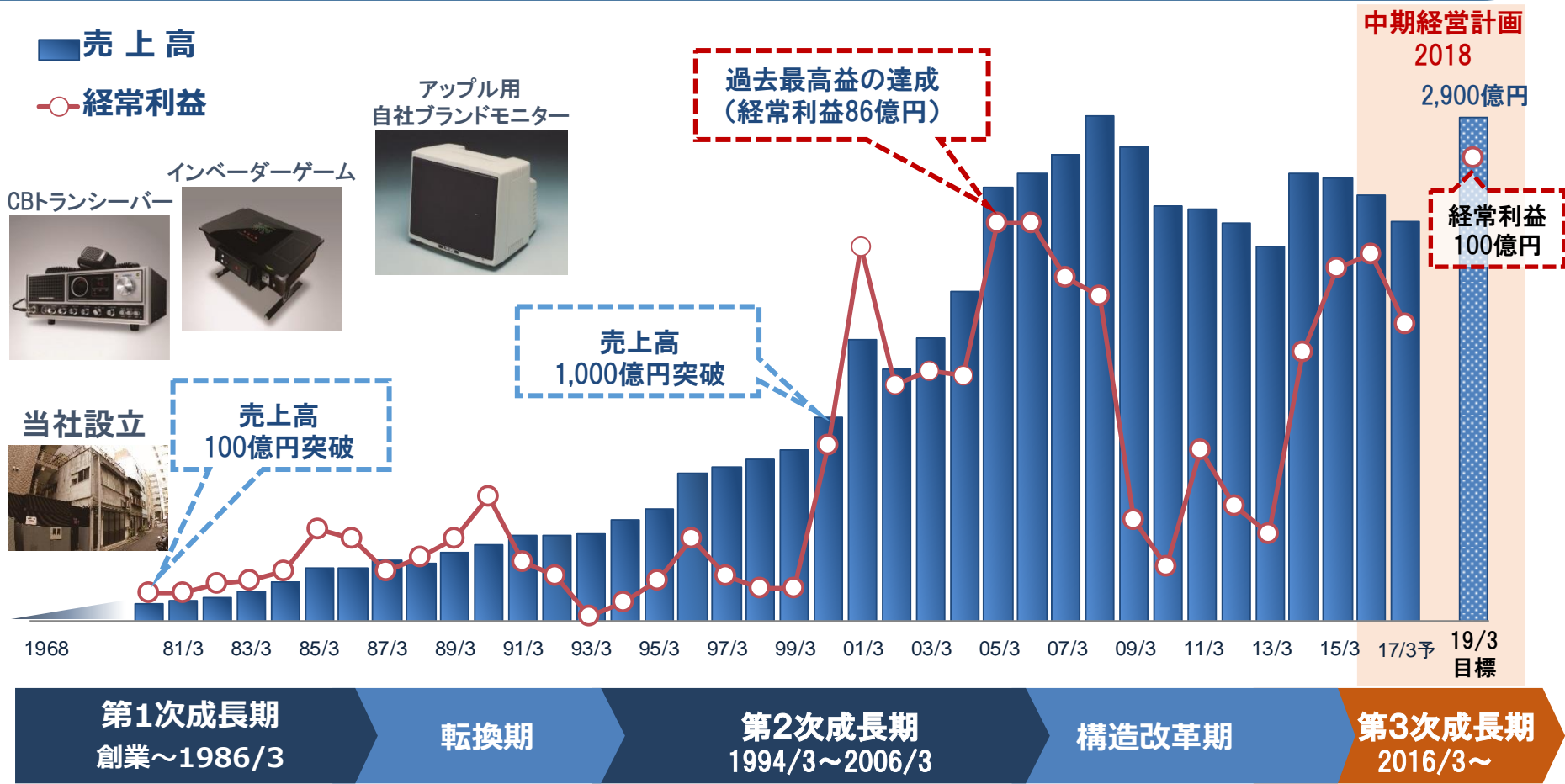
	2016/3期		2017/3期(予想)			増減の主なポイント
	売上高		売上高		前年比	
日本	167,914	69%	154,500	67%	-13,414	半導体の商流変更による取扱高減少および為替の変動など。
北米	5,840	2%	5,000	2%	-840	電子機器向けEMSの減少など。
欧州	2,662	1%	2,500	1%	-162	
東アジア	68,970	28%	68,000	30%	-970	海外日系メーカーへの電子機器向けEMSの減少など。
計	245,387	100%	230,000	100%	-15,387	

# 中期経営計画2018の取組み

## (2016年3月期～2019年3月期)

# ①中期経営計画2018の位置付け

- 利益重視経営の確立と**“次世代の加賀電子”**として飛躍するための準備期間。
- 設立50周年に向け、その総決算として**経常利益100億円**(過去最高益)を目指す。
- わが国業界No.1**の実現、そして**世界に通用する企業**として持続的成長を狙う。





## ②業績不振子会社の立て直し

2016年3月期において、**業績不振子会社の立て直し**を完了

### ■ 業績不振子会社の損益改善

単位:百万円

	加賀ハイテック				エスアイエレクトロニクス			
	'13年3月	'14年3月	'15年3月	'16年3月	'13年3月	'14年3月	'15年3月	'16年3月
売上高	28,280	28,472	26,176	26,741	2,087	4,127	2,593	1,931
営業利益	-1,154	-280	-445	3	9	-376	-186	-48
経常利益	-1,095	-220	-384	94	-9	-414	-137	-11
当期純利益	-1,784	552	-419	64	-9	-417	-139	21

### ■ 情報機器事業の再編(2016/4)



- ✓ 2016年4月1日に3社合併
- ✓ 存続会社は加賀ソルネット
- ✓ 3社の販路を相互連携による有効活用や商材の拡大及び人材の有効活用を含めたノウハウを結集

# ③中期経営計画 基本方針

## (1)収益基盤の強化

- ① 重点市場の深堀  
(車載、環境、通信、産業機器、アミューズメント)
- ② 重点客先の関係強化
- ③ 海外ビジネスの拡大

## (2)新規事業の創出

医療・ヘルスケア、素材

## (3)経営基盤の強化

- ① グループ再編
- ② コーポレートガバナンス体制の強化
- ③ コンプライアンス遵守
- ④ 販管費の削減

# ④車載分野へのアプローチ

## 安全（安全自動車）、環境（エコカー）への取り組みを強化

オーディオ、ナビゲーション中心から、**安全**、**環境**をキーワードとした事業展開

- 安全 「ADAS(先進運転支援システム)」の普及に伴うビジネスチャンス  
(例)車載カメラ、液晶、LEDバックライト等
- 環境 燃費規制の強化、排ガス規制の強化に伴うビジネスチャンス  
(例)DCDCコンバータ、ACインバータ等

### 走行安全システム

- ・液晶
- ・カメラ
- ・バックライト/LED
- ・ダイキャスト
- ・人工知能

### その他

- ・パワー半導体
- ・基板

### パワートレイン

- ・パワー半導体
- ・基板
- ・センサー



### 情報通信

- ・通信モジュール
- ・メモリー各種
- ・カメラ
- ・エコキャン
- ・マイク

### パワーマネジメント

- ・ダイキャスト
- ・基板
- ・センサー
- ・EMS

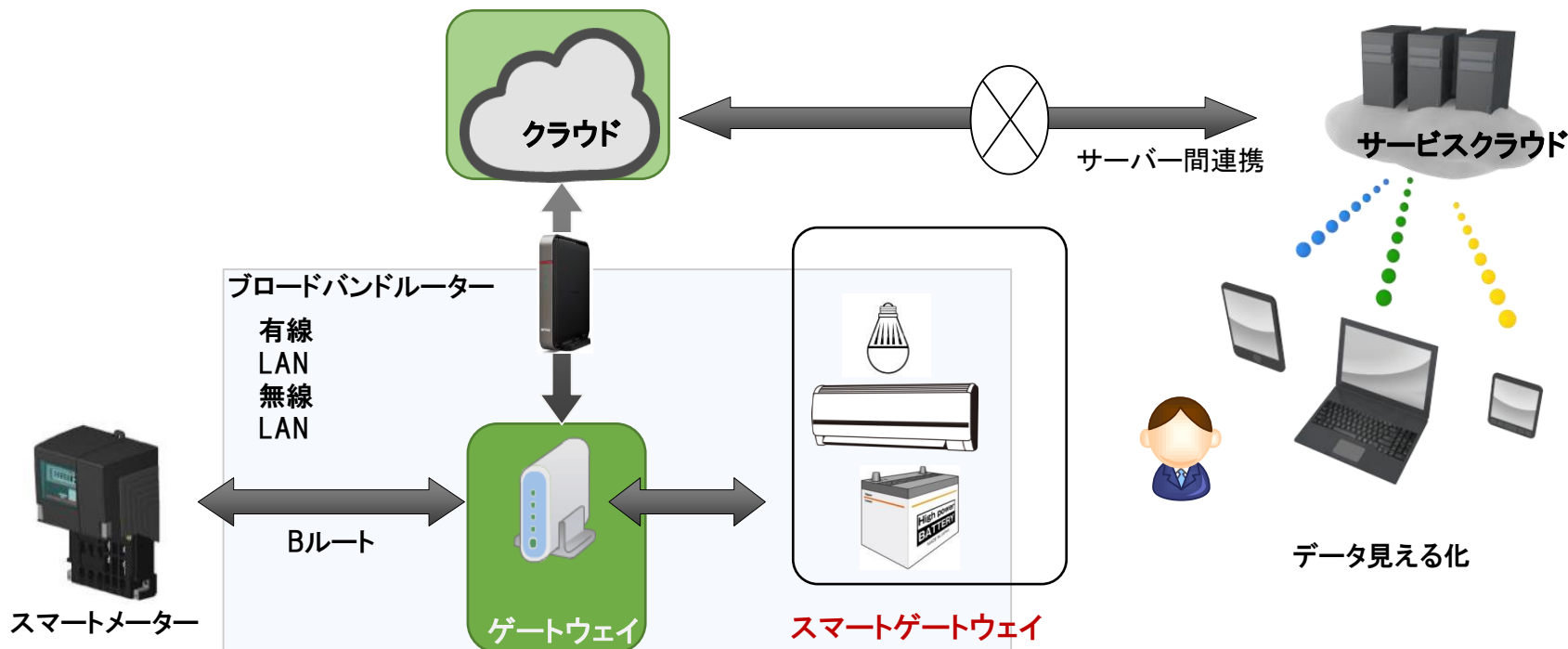
# ⑤通信分野へのアプローチ

## IoT (Internet of Things) への取り組みを強化

通信メーカーとの取引や通信機器の販売中心から、介護・スマートメーター・車載を核としたシステムソリューションへの事業展開

→ 今期よりIoT関連の取引先を持つ関係セクションを横断した分科会を設置し、川上から川下まで、様々な可能性を検討する取り組みをスタート。

- クラウドを利用した「見える化」が様々な状況で拡大、ベンダーとの連携により取り組みを強化。  
(例) 電力自由化によるスマートメーターシステム



# ⑥海外ビジネスの拡大

## 海外子会社売上高の推移

単位:億円

	2015/3期	2016/3期	2017/3期 (予)
	売上高	売上高	売上高
計	941	937	893



**2019年3月期**  
**売上高1,000億円を目指す。**

## 中計1年目の取組み実績等

1. 生産効率・部品コストダウンによる利益率改善
2. 湖北新工場稼働により生産キャパの増大  
中国国内への販売が増加
3. 車載顧客との取引拡大
4. 自動化設備のスタート
5. 生産効率・品質強化:生産センター設立



## 中計2年目以降の施策

### 1. グローバル拠点の再編と拡充

- ✓ 日本・中国・アセアン・欧州・米州のエリアごとに再編
- ✓ 生産拠点の拡充:メキシコ、インド
- ✓ 販売拠点の拡充:ドイツ、北米

### 2. 欧米拠点に生産ライン増設検討

### 3. M&Aの推進

## ⑦業績目標

指標	2016年3月期 実績	2019年3月期 計画
売上高	2,453億円	2,900億円
経常利益	79億円	100億円
ROE	9.0%	8%以上

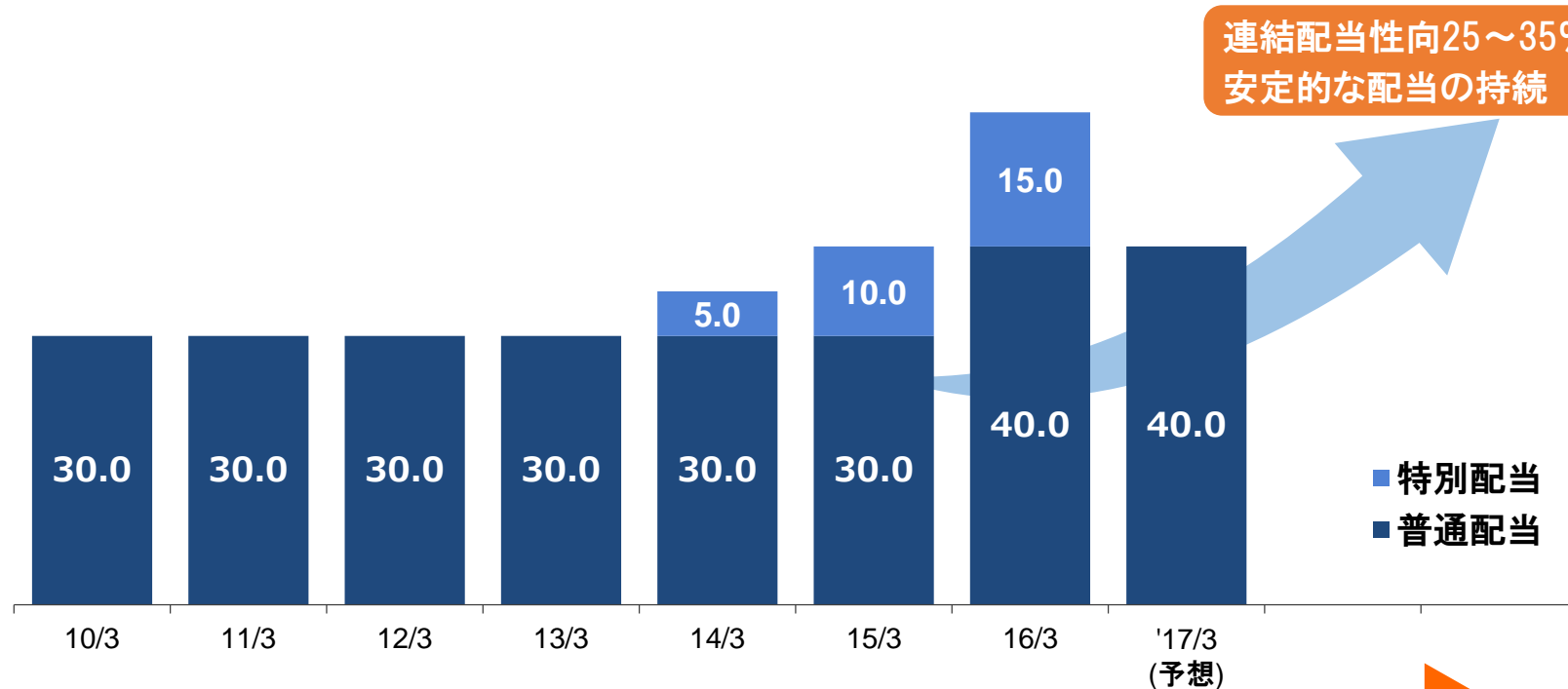
ROE8%以上の **継続的・安定的な確保** を目指す業績目標

- ▶ 収益体質の更なる改善を図り、売上成長の追求していく

# ⑧株主還元:配当金の推移

## 利益配分に関する 基本方針

- 連結配当性向25～35%を確保しつつ安定的な配当の実施を目標とする。
- 自己株式の取得は市場環境、資本効率等を鑑みながら、適宜検討。
- 内部留保は企業価値向上に資する事業投資、設備投資、M&Aに活用。



中期経営計画2018

連結EPS (円)	△11.5	64.0	33.1	16.0	137.2	156.2	192.4	166.3
連結配当性向	-	46.8%	90.5%	186.5%	25.5%	25.6%	28.6%	24.0%

## (1)経営目標

『經常利益100億円を目指す』

## (2)CSR

『社会的責任の全う』



# 『すべてはお客様のために』



〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

問合せ先：秘書・広報室

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7133

E-mail : [webmaster@taxan.co.jp](mailto:webmaster@taxan.co.jp)

<http://www.taxan.co.jp>